11 Dec 2000

このファイルには、以下の項目に関する最新情報が記載されています。

HP ノートブック コンピュータと Windows に関する参照情報
注意事項
ウィルスから保護する
スタンバイ モードでバッテリを交換する
HP Presentation Ready を使用する
ディスプレイを切り替える
注意: モデム ケーブルを選択する
旧型マイクロソフト マウスを使用する
MS-DOS モードで実行する

Windows 98
USB ケーブル接続のフロッピー ドライブを使用する
外部モニタを接続する
プラグイン モジュールを交換する
ドッキング状態で ATA の PC カードを使用する
LAN 接続時のドッキングおよびドッキング解除
HP 製品以外の USB フロッピー ドライブを使用する

Windows 2000
Tour of Windows 2000 を実行する
外部モニタのリフレッシュ レートを変更する
ネットワークから起動する
HP One-Touch を再インストールする

Windows NT 4.0
Windows NT で作業を修復する
内蔵 LAN アダプタをセット アップする
PC カードを使用する
VirusScan および Card Executive をインストールする
キーボードとドライバを適合させる
メディア プレーヤを使用する
フロッピー ディスク ドライブなしで VirusScan を使用する
Mediamatics DVD プレーヤ ソフトウェアをインストールする
ソフトウェアのインストール中に Dr. Watson エラーが発生する

HP ノートブック コンピュータを長持ちさせるために
取り扱い上の注意
一般的な使用の注意

参照情報

* マニュアル『スタートアップ ガイド』には、ノートブック コンピュータの紹介と基本的な使い方が記載されています。トラブルシューティング情報もあります。

* オンライン マニュアル『リファレンス ガイド』には、オペレーティング システムのセットアップ、アクセサリの取り付けと接続、コンピュータの管理とアップグレードを行う方法が記載されています ([スタート]-[プログラム]-[HP ライブラリ])。

* コンピュータ付属の Microsoft Windows マニュアルには、Windows オペレーティング システムの標準機能の使い方が記載されています。

* BIOS のアップデートその他の技術情報については、以下の HP Web サイトをご覧ください。http: //www.jpn.hp.com/go/omnibook

注意事項

データの消失など重大な問題が発生する可能性のある状況を避けるために、以下の点に注意してください。

データの読み書きをしているときは、データ記憶用の PC カードを取り外さないでください。データが壊れる恐れがあります。

アプリケーションの中には、作業ファイルを開いたままで、データに変更があるたびにファイルを更新するものがあります。リムーバブル ディスク上 (フロッピー ディスクまたは PC カードなど) に開いたままのファイルがあると、ファイルが破損しやすい場合があるので、そのようなアプリケーションではリムーバブル ディスク上のファイルは使用せず、開くのはハード ドライブ上のファイルのみにしてください。

コンピュータをサスペンド、ドッキング、またはドッキング解除する前に、必ずデータを保存し、使用中のアプリケーションをすべて閉じてください。電源管理機能のないアプリケーション、オーディオ/ビデオ アプリケーション、PC カードや CD-ROM などの I/O デバイスを使用するアプリケーションの場合は特に注意してください。

ウィルスから保護する

ウィルスによる被害からデータを保護することは大切です。本機に付属の VirusScan といったアンチウィルス ソフトウェアをインストールすることをお勧めします。

注記: アンチウィルス ソフトウェアは、最新のウィルスに対応するよう定期的に更新する必要があります。ソフトウェアを更新することで、未検出のウィルスや誤ったウィルス情報を避けることができます。

Windows 98
1. [スタート]、[プログラム]、[McAfee VirusScan]、[Setup] の順にクリックします。
2. インターネットから最新版のソフトウェアをダウンロードします。
3. その後も定期的に、インターネットから最新版をダウンロードします。

Windows 2000
1. [スタート]、[プログラム]、[Network Associates]、[Setup] の順にクリックします。
2. インターネットから最新版のソフトウェアをダウンロードします。
   -または-
   [スタート]、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
   c:¥hp¥programs¥viruscan¥sdat4100.exe を入力すると、ハード ディスクが更新を実行します。

3. その後も定期的に、インターネットから最新版をダウンロードします。

スタンバイ モードでバッテリを交換する

通常、コンピュータがスタンバイ モードの場合は、メイン バッテリの交換ができます。バッテリ交換中は、内部バックアップ バッテリが電源になります。ただし、電源設定によっては、スタンバイ中の電力消費が増大する場合があります。設定が、スタンバイ中の電力消費を増大する設定に変更されている場合は、バッテリ交換の前にコンピュータをシャット ダウンするか、AC アダプタを接続してください。そうしないと、バックアップ バッテリが消耗した場合に、未保存のデータが失われるおそれがあります。

例えば、Windows 2000 の電源設定には、内蔵 LAN アダプタによって、スタンバイ モードから電源を入れるオプションがあります。このオプションは、スタンバイ モードでの電力消費を増大させます。

HP Presentation Ready を使用する

HP Presentation Ready と外部モニタを連動させる場合は、モニタがプラグ&プレイ対応かどうかをチェックしてください。プラグ&プレイ対応でない場合は、まず使用するビデオ設定を決定し、次に [コントロール パネル] の [画面] を開き、ビデオ設定をサポートするモニタをセットアップします。この手順を行わないと、HP Presentation Ready で指定したビデオ設定がアクティブになりません。

ディスプレイを切り替える

[Fn] + [F5] を押して、内蔵ディスプレイと外部ディスプレイを切り替えることができます。ただし、OpenGL などの画像集約的なアプリケーションの実行中に切り替えることは避けてください。ディスプレイの切り替えが、ビデオの破損やアプリケーションのシャットダウンの原因になることがあります。

注意: モデム ケーブルを選択する

火災防止のため、モデムを電話ジャックに接続するときは、AWG No.26 より太い通信ケーブルを使用してください。

旧型マイクロソフト マウスを使用する

本機は、2 タイプの旧型マイクロソフト マウス (パーツ#28898 と#07685) では、スタンバイ モードを使用できません。これらのマウスを使用してサスペンドとレジューム操作を行うと、コンピュータがロックしてしまいます。これらの旧型マウスを使用している場合は、以下の手順にしたがって問題を回避してください。

1. BIOS Setup ユーティリティを起動します (再起動し、[F2] を押す)。

2. [Power] メニューで、[Resume on Serial Ring] の設定を無効にします。

3. 設定を保存し、Setup ユーティリティを終了します。

MS-DOS モードで実行する

本機を MS-DOS モードで起動する場合、電源管理機能はサポートされません。サスペンドを防ぐため、BIOS Setup ユーティリティの電源管理設定を無効にしてください。サスペンドすると、中断が生じ、データが消失するおそれがあります。

Windows 98

USB ケーブル接続のフロッピー ドライブを使用する

USB フロッピー ケーブルを使用してフロッピー ドライブをコンピュータに取り付けると、Windows 98 の場合、「ドライブ D」など、ドライブ C よりも後のドライブが割り当てられます。Windows でドライブ A または B が表示されても、これらのドライブ名でフロッピー ドライブにアクセスすることはできません。USB ケーブルで接続したフロッピー ドライブにアクセスするには、ドライブ D あるいはその他の、割り当てられたドライブ名を使用しなければなりません。ただし、フロッピー ドライブを拡張ベースに挿入した場合は、「ドライブ A」でアクセスできます。

外部モニタを接続する

外部モニタを、コンピュータまたは拡張ベースに接続してもオンにならない場合は、[Fn] + [F5] を押します。同様に、モニタの接続を外す場合も、内蔵ディスプレイをオンにするために [Fn] + [F5]を押さなければならないことがあります。

プラグイン モジュールを交換する

Windows 98 では、スタンバイ モード中に、プラグイン モジュールを拡張ベースから取り外したり取り付けたりしないでください。スタンバイ モードはオレンジ色の電力モード ランプで示されます。BayManager ホットスワップ ソフトウェアをインストールしている場合は、コンピュータが立ち上がっている状態でタスクバーの [BayManager] アイコンをクリックすれば、モジュールの交換ができます。スタンバイ モードで交換すると、コンピュータが応答しなくなる可能性があります。モジュールの交換は、コンピュータをシャット ダウンしている時にも可能です。

ドッキング状態で ATA の PC カードを使用する

コンピュータに、ATA の PC カードを装着した状態でドッキングすると問題が生じる場合は、BayManager ホットスワップ ソフトウェアをインストールしてみてください。BayManager は、ATA 大容量記憶カードを使用する際に生じるロックアップや、再起動や、検出の問題を防止する機能を備えています。

LAN 接続時のドッキングおよびドッキング解除

コンピュータが LAN ポートを装備している場合、ドッキングあるいはドッキング解除の後、

Windows 98 がコンフィギュレーションを更新する際に応答が遅延することがあります。この間、ポインタや他のデバイスが正常に動作しないことがあります。システムの準備が整うまで、1 分あるいはそれ以上の時間を要する場合があります。

HP 製品以外の USB フロッピー ドライブを使用する

HP 製品以外の USB フロッピー ドライブを接続している場合、コンピュータの起動時にロックアップするときは、USB ドライブを取り外して再起動を試み、その後再び接続します。それでも問題が解決しない場合は、BIOS Setup ユーティリティで Legacy USB Support の設定を無効にします。

Windows 2000

Tour of Windows 2000 を実行する

[Getting Started] ウィンドウで Windows 2000 ツアー用 [Discover Windows] をクリックします。CD を挿入するように表示されたら [キャンセル] をクリックし、c:¥tour と入力してツアーを開始します。

外部モニタのリフレッシュ レートを変更する

コンピュータや拡張ベースに接続した外部モニタを使用している場合、画像のゆらぎを修正するためにリフレッシュ レートを変更することがあります。外部モニタのリフレッシュ レートを変更するには、モニタを接続した状態で次の手順を行います。

1. Windows 2000 で、[スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[画面] をダブルクリックします。
2. [設定] タブで、[詳細] をクリックします。
3. [ATI ディスプレイ] タブで、[モニタ] をクリックし、リフレッシュ設定を変更します。

ネットワークから起動する

コンピュータが LAN ポートを内蔵している場合、BIOS Setup ユーティリティで [Internal NIC] を第一の起動デバイスに設定すると、ネットワークから起動できます。ただし、起動のプロセス中に、不意に再開する場合があります。これを防ぐため、再起動の前にコンピュータを完全にシャットダウンしてください。

HP One-Touch を再インストールする

本機には、HP One-Touch ソフトウェアがプリインストールされています。HP One-Touch ソフトウェアの再インストール、あるいはアップデートの必要がある場合は、インストールを適切に完了するために、管理者としてログインする必要があります。

Windows NT 4.0

Windows NT で作業を修復する

Windows NT で、新たなサービス、ハードウェア デバイス、またはアプリケーションをインストールする場合は、Rcovery CD から Service Pack を再インストールする必要があります。これにより、Service Pack コンポーネントと他の関連するコンポーネントが正しく動作するようになります。Service Pack を再インストールする際、すでにインストールされているアプリケーション、設定値、またはドライバが上書きされることはありません。

例えば、Windows ネットワーク サポートをインストールする場合、他のコンポーネントが正しく動作するように Service Pack を再インストールする必要があります。

最新の Service Pack は、Rcovery CD のディレクトリ¥NT4_SP*X* にあります。*X* はお使いのコンピュータの Service Pack 番号を示します。再インストールの際は、以下の手順に従ってください。

1. AC アダプタを接続してコンピュータの電源を入れます。

2. [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

3. CD-ROM ドライブから、¥NT4_SP*X*¥Sp*X*i386.exe を実行します (*X* は Service Pack 番号を示します)。

内蔵 LAN アダプタをセット アップする

LAN アダプタが内蔵されている場合は、次の手順に従って適切なセット アップを行います。この手順に従わないと、コンピュータがサスペンドしたりハイバネート モードに入った場合、ネットワーク接続ができなくなる可能性があります。

1. [コントロール パネル] の [ネットワーク] を開いてネットワーク サポートをインストールします。画面が表示されたら [リストから選択]、[ディスク使用] をクリックし、c:¥hp¥drivers¥lan を入力した後、[3Com Ethernet アダプタ] を選択します。NT ファイルの場所を入力するよう要求された場合は、最初に c:¥i386 と入力し、それから c:¥hp¥drivers¥lan と入力します。

2. AC アダプタを接続し、Recovery CD から Service Pack をインストールします。[スタート] - [ファイル名を指定して実行] - [参照] をクリックし、Recovery CD の¥NT4_SP*X*¥Sp*X*i386.exe を選択します (*X* は Service Pack 番号を示します)。

3. [スタート]、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、c:¥hp¥drivers¥lan¥tdiinst.exe を入力します。電源管理機能がインストールされます。

PC カードを使用する

Point-enabled カードおよびその他のカードを使用すると、バッテリ残量が少なくなったとき、システムがハイバネート モードに移行できないことがあります。ハイバネート モードに移行でき

ないと、バッテリが消耗して修復不能なシャットダウンに至ることもあります (この場合データは失われます)。上記のようなカードを使用中にこのようなことが起こるのを防ぐため、バッテリ残量が低レベルのときはシステムの状態に注意を払い、充電装置に接続するかシステムを強制終了してください。コンピュータに APM がインストールされている場合、バッテリ残量が少ないとシステムが警告を発します。この場合はデータを全て保存してください。

VirusScan および Card Executive をインストールする

McAfee VirusScan と Card Executive の両方をインストールする場合は、McAfee VirusScan を先にインストールしてください。

Card Executive がすでにインストールされている場合は、VirusScan をインストールする前に、前述の Windows NT Service Pack をインストールしてください。Card Executive の後に Service Pack をインストールしないと、VirusScan のインストール中にエラーが発生する可能性があります。このようなエラーがすでに発生した場合は、まず Service Pack をインストールして、次に VirusScan をインストールしてください。

キーボードとドライバを適合させる

OS の言語が Windows NT キーボード ドライバの既定値となります。例えば、OS がフランス語の場合、実際に接続されているキーボードの種類に関わらず、フランス語がキーボード ドライバの既定値となります。OS の言語に対応した標準のキーボード以外のキーボード (例えばカナダ フランス語) がコンピュータに接続されていると、そのキーボードは正しく動作しません。

キーボードに対応した正しいドライバを選択するには、次の手順に従ってください。

1. [コントロール パネル] の [キーボード] をダブルクリックして [言語] タブを選択します。

2. 正しいキーボードの言語とレイアウトを選択します。

メディア プレーヤを使用する

メディア プレーヤが AVI ファイルを正しく再生しない場合は、AVI ファイルを Mplay32.exe で開いてください。[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、mplay32 と入力してから [OK] をクリックします。

フロッピー ディスク ドライブなしで VirusScan を使用する

VirusScan のオプションで、シャットダウン時にフロッピー ディスク ドライブをチェックするオプションは、有効にしないでください。有効にすると、フロッピー ディスク ドライブが取り付けられていない状態でコンピュータをシャットダウンした場合、シャットダウンが完了するのに数分かかったり、警告音が鳴ることがあります。このオプションを無効にするには、タスクバーの [VirusScan] アイコンをダブルクリックして [プロパティ] をクリックし、[検出] タブを表示します。Windows NT では、シャットダウン時にフロッピー ドライブをスキャンする選択をクリアします。

Mediamatics DVD プレーヤ ソフトウェアをインストールする

Mediamatics DVD ソフトウェアのインストール中に IDE ドライバについてのエラー メッセージが表示された場合は、以下の手順に従ってください。

1. [コントロール パネル] で [SCSI アダプタ] を開き、[ドライバ] タブを表示します。

2. [Intel ATA ドライバ] をハイライトし、[削除] をクリックします。

3. [追加] - [ディスク使用] - [参照] の順にクリックします。次に c:¥hp¥Drivers¥Piix4 ディレクトリで Piixide.inf を選択して PIIXIDE ドライバをインストールします。

この手順で Mediamatics DVD ソフトウェアをインストールできます。

ソフトウェアのインストール中に Dr. Watson エラーが発生する

ソフトウェアのインストール時に Dr. Watson エラー メッセージが表示された場合は、メッセージを承認してイントールを続行します。Dr. Watson ユーティリティの詳細については、Microsoft の Web サイト http://www.microsoft.com をご覧ください。

HP ノートブック コンピュータを長持ちさせるために

ここでは、HP ノートブック コンピュータを長持ちさせるために、毎日の使用で注意すること、物理的な損傷やデータの消失を防止する方法について説明します。ハード ディスク ドライブおよびその他の内部コンポーネントは精密部品なので、取り扱いや操作を誤ると損傷しやすい部分です。

取り扱い上の注意

* 振動や衝撃を与えないでください。
  - HP コンピュータを携帯するときは、システムをサスペンドするかシャット ダウンして、ハード ディスクへの電力供給を止めてください。ハード ディスクが稼動している状態で、万一本機を落とした場合、たとえ数センチの高さからでも、ハード ディスクが破損したりデータが消失したりする可能性があります。
  -振動や衝撃から守るため、本機はソフトケースに入れて携帯してください。
  -コンピュータを置くときは、落としたり、ぶつけたりしないように静かに置いてください。
  -激しい揺れのある場所で使用しないでください。

* 本体装置周辺で十分な換気が行われるように注意し、キャリング ケースなどに入れる前には、サスペンド モードにするか、電源をオフにしてください。

* ディスプレイ部分を持ち上げたり、ディスプレイをつかんで持ち運ばないでください。

* 屋外では、雨または雪などの悪天候時や、温度や湿度が通常と極端に異なる場合は使用しないでください。

一般的な使用の注意

* ディスプレイの輝度を見やすい範囲でなるべく低くしてください。バッテリの持続時間をのばすことができます。

* PC で作業したファイルは、フロッピー、テープ、またはネットワーク ドライブにコピーして、定期的にバックアップを行ってください。

* ウィルス スキャン プログラムを使用して、ファイルとオペレーティング システムを定期的に検査してください。自動的に起動するプログラムを推奨します。また、「スキャンディスク」と「デフラグ」ユーティリティを使ったディスクの検査も行ってください。

* ドッキングを解除する前に、コンピュータをシャット ダウンする必要がある場合があります。
  -Windows 98 またはその他のプラグ&プレイ対応オペレーティング システムでは、ドッキングを解除する前にシャット ダウンする必要はありません。

HP ノートブック コンピュータの起動と終了方法の詳細については、付属マニュアルをお読みください。

- 以上 -